

一般社団法人地理情報システム学会第 99 回理事会 議事録

開催日時： 令和 6 年 12 月 4 日(水) 17 時 00 分～20 時 25 分

開催場所： Zoom によるオンライン開催

出席者： 理事：相、井上、大場、河端、熊谷、佐藤、塚本、中谷、山田、山本
監事：大佛、巖

配付資料： 2024 年 12 月 4 日 第 99 回理事会資料

議事

・開会

定刻 17 時 00 分に、山本会長が議長を務め開会を宣言した。理事の出席数を確認し、本理事会が適法に成立している旨を告げた。

総理事 10 名

出席理事数 10 名

議事概要：

【報告事項】

1. 職務執行状況について

中谷理事より、企画委員会の活動として、G 空間 EXPO2025 および GIS 理論と応用特集号企画の検討状況について報告された。特集号企画として、巖監事より GeoAI をテーマとする提案がされ、検討を進めることとなった。

河端理事より、財務委員会の活動として、月次会計検査の実施について報告があった。支部・分科会担当理事として、10 月 27 日に開催された法務・支部・分科会合同ミーティング、GIS 学会個人情報取扱規定および支部に関する定款と規程の改正案の検討状況、地理空間情報標準調査会（SIG-GIS）より提案のあった地理空間情報標準化の貢献者表彰の検討状況について、報告があった。

井上理事より、大会実行委員会の活動として、今年度大会に関する参加者アンケートの結果について報告された。ポスターセッションの時間が短いという意見に関連して、口頭発表の時間配分、パラレルセッション数、開催日程（金曜日の検討）、同一内容の発表のポスター・口頭発表併用の見直し、企画セッション等へのハイブリッド開催の導入等、多様な可能性について意見交換を行った。懇親会への意見、特に学生の参加のしにくさに関連して、学生主体の懇親会、企業スポンサー、SNS 等を活用した広報等について意見を交換した。また、開催校の負担軽減のため会議施設等の利用可能性について今後検討していくこととなった。学会賞委員会の活動として、大会優秀発表賞、ポスターセッション賞それぞれの審査方法の検討状況について報告があり、ポスターセッション賞の審査の公平性担保の方策等について意見交換を行った。

さらに、学術研究発表大会での発表を対象とした「理論と応用（大会特集号）」の導入に関する検討状況について報告があった。査読手順等について意見交換し、引き続き WG で検討を続けることとなった。

相理事より、広報委員会の活動として、大会広報用写真の撮影、NL（大会報告号）の準備状況、学会ウェブサイトにおけるバナー広告導入の検討状況について報告があった。

熊谷理事より、編集委員会の活動として、学会誌の投稿件数・査読・採択等の状況、学会誌の電子化に伴う古今書院および和光印刷との打ち合わせについて報告があった。二社はこれまで学会誌の販売、印刷をそれ

ぞれ担当いただいていた企業である。なお、和光印刷には NL の印刷も依頼しており、これは継続する。和光印刷の瀬尾様に長年の貢献に対し会長名義で感謝状を贈ることとした。

塚本理事より、教育委員会の活動報告として、GIS 教育実践アワードに関連して全国地理教育学会での広報の可能性と募集期間外に通年で使えるポスター作成の検討状況、GIS カードに関する問い合わせ等について報告があった。ポスターはデザインを業者に依頼し、長期間使えるものを作成する予定である。また、GIS カード利用希望者に向けて講習会等を開催する可能性について意見交換を行った。

佐藤理事より、GIS 資格認定協会の活動報告として、GIS 資格認定件数、メールマガジンの発行、規程の見直し状況等について説明があった。

山本会長より、賛助会員向けサービス、地理空間情報標準調査会からの表彰制度の提案、関西支部支部長の交代、立命館大学日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点からの要望書の依頼への対応について報告された。

2. 入退会会員リストについて

山本会長より、入退会の現状報告がなされた。

【審議事項】

1. 学会誌「GIS-理論と応用」の電子ジャーナル発刊業者の選定について

熊谷理事より資料に基づく説明があり、三美印刷株式会社に依頼することが承認された。

2. 学会誌「GIS-理論と応用」の完全電子ジャーナル化に伴う「投稿規程」および「投稿原稿の審査に関する規程」の改定について

熊谷理事より資料に基づく説明があり、提案された改定が承認された。

3. 定款、「支部の設置及び運営に関する規程」、「委員会・支部・SIG 経理規程」の改正について

大場理事より資料に基づく説明があり、提案内容について確認した。定款と「支部の設置及び運営に関する規程」については、次回総会および同日開催される理事会とで審議、承認を求める予定とした。「委員会・支部・SIG 経理規程」については本理事会において承認された。

4. 学会 Web サイトにおける「個人情報の利用目的」の掲載と「プライバシーポリシー」の削除について

大場理事より資料に基づく説明があり、提案通り承認された。また、変更に伴い、広報委員会で学会 Web サイトの更新を行うことを確認した。

5. 地理情報システム学会個人データ取扱規程（案）の制定について

大場理事より資料に基づく説明があり、提案通り承認された。支部等の対応を要する内容であるため、周知説明に必要な期間を考慮し、2025 年 7 月 1 日から施行することとした。

6. 学会誌の電子化に伴う定款及び会員規約の改正について

大場理事より資料に基づく説明があり、提案内容について確認した。次回総会および同日開催される理事会とで審議、承認を求める予定とした。

7. 地理空間情報標準調査会（SIG-GIS）より提案のあった地理空間情報標準化の貢献者表彰について

河端理事より提案についての説明があり、学会が行う表彰としての可否について審議した。なお関連する情報は、山本会長の報告資料にも記載されている。表彰の該当者がかなり限定されることに伴う表彰の継続性

の課題、分科会の設立から日が浅いことによる会員コミュニティにおける認知や活動実績に関する課題、候補者選定から審査までの手順およびその分科会と学会の役割分担等が不明確である点への懸念などが指摘され、今回の提案は承認しないこととした。また、学会ではなく分科会の表彰とする可能性も示唆された。本理事会で出た意見等を分科会に伝え、再検討いただくこととした。

8. 日本学術会議地域情報分科会と合同のシンポジウム開催について

中谷理事より、人流ビッグデータをテーマとしたシンポジウムの開催について提案があり、承認された。主催は地域情報分科会、GIS学会は共催となる。2025年3月1日開催予定（予備日2月25日）。

【その他】

1. 山本会長より、防災学術連携体主催のシンポジウム「阪神・淡路大震災30年、社会と科学の新たな関係」について情報共有があった。

2. 次回理事会の予定

2025年2月6日(木)の17時に開催することを確認した。

・ 閉会

予定されていた議事をすべて終了し、議長が20時25分に本理事会の閉会を宣言した。

出席理事および監事

理事	相 尚寿
理事	井上 亮
理事	大場 亨
理事	河端 瑞貴
理事	熊谷 樹一郎
理事	佐藤 俊明
理事	塚本 章宏
理事	中谷 友樹
理事	山田 育穂
理事	山本 佳世子
監事	大佛 俊泰
監事	巖 網林

以上の決議を明確にするため、山田理事が本議事録を作成し、議長及び出席理事・監事全員が記名押印する。

2024年12月4日

一般社団法人地理情報システム学会

理事 相 尚寿

理事 井上 亮

理事	大場 亨
理事	河端 瑞貴
理事	熊谷 樹一郎
理事	佐藤 俊明
理事	塚本 章宏
理事	中谷 友樹
理事	山田 育穂
理事	山本 佳世子
監事	大佛 俊泰
監事	巖 網林